

### 京都市基本構想における関連記述

# 農林業

～まちの基盤づくり～

歴史的風土や自然環境と調和した町並みの美しさを守り， 山林や農地の保全を図る。

### これまでの主な取組

- ・ 安全で環境負荷が少なく， 新鮮で栄養価の高い「地場産野菜（京の旬野菜）」の生産・供給体制の充実
- ・ CO<sub>2</sub> 吸収等， 森林の多面的機能の維持向上のために， 間伐の推進を中心とした適正な森林整備や， 必要な路網整備等の推進
- ・ 農家・林家と市民が， 農林業を通じた市民交流活動として， 地域資源や環境を守る取組を推進

京の旬野菜推奨事業



森林総合整備事業（間伐対策）



## 論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス(追い風)は？ 放置できない問題(向かい風)は？
- ◇ 活用できる資源(強み)は？ 克服すべきこと(課題)は？

外部環境分析（施策を推進するうえで， 追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況）	
追い風	向かい風
<ul style="list-style-type: none"> <li>○食の安心・安全への観点から， 地元産・国内産への注目の高まり。</li> <li>○地球温暖化対策において， 森林によるCO<sub>2</sub>の吸収源としての重要性の高まり。</li> <li>○京北町との合併により， 農林業及び関連資源が増加。</li> <li>○景気の低迷による失業者の増加や労働に対する価値観の変化により， 農林業への関心の高まり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市化による農地減少。</li> <li>○経費の負担増による価格競争力の低下。</li> <li>○農業粗生産額， 林業粗生産額共に減少。</li> <li>○農林業従事者の高齢化。</li> </ul>
京都の現況分析（他都市等と比較して， 京都の現況が優位又は劣位である事項）	
京都の強み	京都が解決・克服すべき課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大消費地と生産場所が隣接しているため， 鮮度が高い農産物の供給が可能。また， 運搬経費の抑制も可能。</li> <li>○市内産野菜の流通は， 約3分の1が直売等であり生産者と消費者が近い関係。</li> <li>○技術力に裏打ちされた， 京野菜や北山スギなど京都ブランドがすでに認知済み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営耕地面積が小規模で分散しているため， 効率的な経営が困難。</li> <li>○耕作放棄地等の増加による営農環境の悪化。</li> <li>○作業道等が少ないため， 効率的な林業経営が困難。</li> <li>○野生鳥獣による農林産物被害の増加による営農意欲の低下。</li> <li>○森林病虫害による景観の悪化・防災機能の低下。</li> </ul>

## 論点2 政策の基本方向

### ◇ 今後10年間の基本的考え， 価値観は？

#### これまでの動き

##### <現在の方向性>

- ・ 人と自然と歴史が共存する農林業を目指して（京都市農林行政基本方針）
  - ① 環境に優しい農林業の持続的発展
  - ② 農林業の持つ多面的機能を生かしたまちづくり・ひとづくり
  - ③ 市民と築く農林業～市民と農林家のパートナーシップ
- ・ 次期京都市農林行政基本方針検討委員会での議論
  - ① 産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成
  - ② 農林業と他産業との連携
  - ③ 地産地消の推進
  - ④ 環境を創造する農林業の推進
  - ⑤ 観光や文化等農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりの推進
  - ⑥ 市民との共汗で作る農林業
  - ⑦ モデルフォレスト運動と連携した市民参加の森づくりの推進
  - ⑧ 教育と食・農林との連携

##### <政策を進めるうえでの悩み>

- ・ 経営耕地面積が小規模で分散しているため， 効率的な経営が困難
- ・ 耕作放棄地等の増加による営農環境の悪化
- ・ 作業道等が少ないため， 効率的な林業経営が困難
- ・ 野生鳥獣による農林産物被害の増加による営農意欲の低下

##### <関連データ>

- ・ 販売農家1戸当たりの経営耕地面積は0.73haで， 政令市の中でも低位
- ・ 市内の遊休農地面積は42.6haで， 全耕地面積2,815.7haの1.5%
- ・ 林内路網密度は13.3m/ha
- ・ 野生鳥獣による農林産物被害は年々増加し， 平成20年度には約2億4千万円に達する。

## 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

### ◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？

## 論点4 10年後に目指すべき姿

### ◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？